校内研究の取組から

「年間指導計画を磨く」

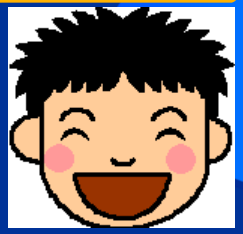
- 要点１：授業の「ねらい」の明確化
- 要点２：年間指導計画の「単元構成」を工夫する。
- 要点３：個（児童生徒）の課題と授業のつながりを説明できる。

「感覚と運動の高次化理論」を適用することで、これらの「根拠」とすることができた！

二軸の視点からの教育課程改善（カリキュラム・マネジメント）

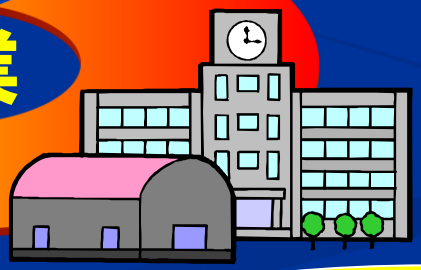
- 「個の課題を焦点化する視点」と「学校として教えるべき教育内容を明確化する視点」の連動を図る。

個の課題の焦点化（個人の指導内容）



学校として教えるべき教育内容

授業

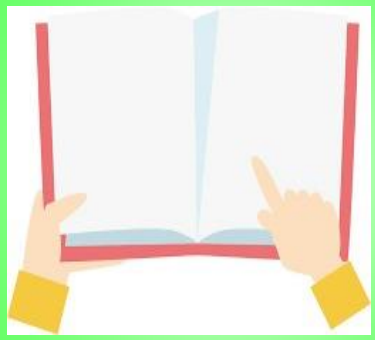


ポイントは・・・

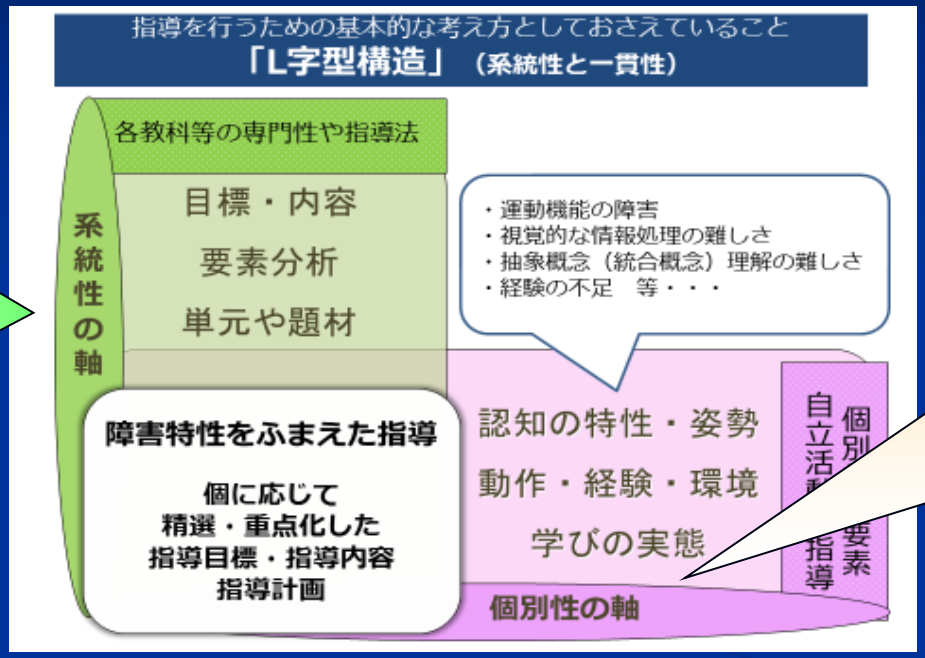
つながる（連動）

二軸の視点からの教育課程改善（カリキュラム・マネジメント）

根拠となる指標



「発達系統表」



「課題関連図」

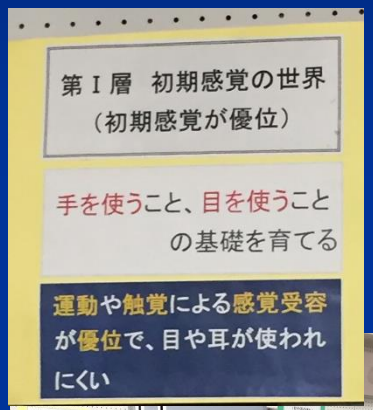
協働性を高めるツール

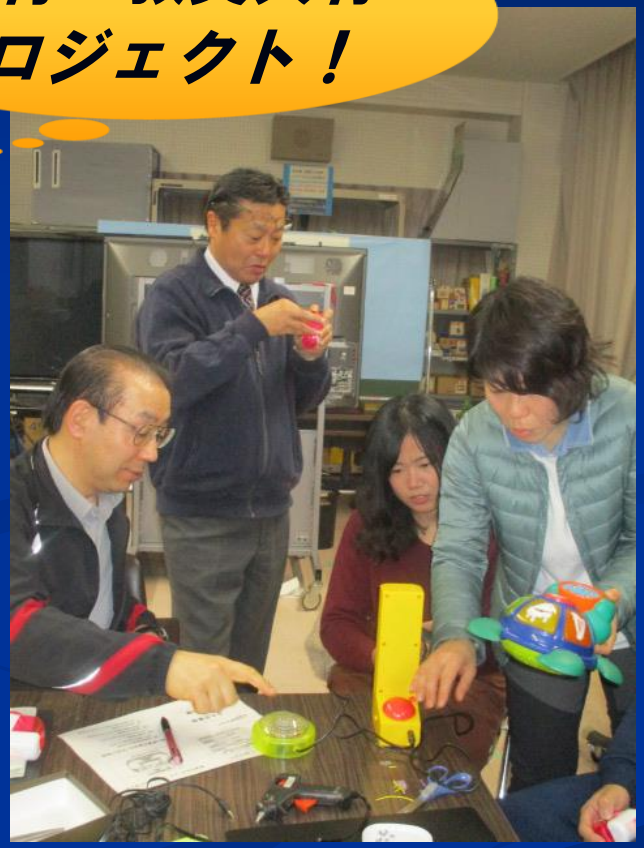
- 「根拠を語る」ことの難しさを「チーム真駒内」として乗り越える！

ご清聴、ありがとうございました！

本校における「感覚と運動の高次化理論」の活用と広がり

教材・教具共有プロジェクト！





カリキュラム・マネジメントにつなげるには・・・

「見える化」「システム化」「共有化」